

平成21年(行コ)第269号

八ッ場ダム費用支出差止等請求住民訴訟控訴事件

控訴人 柏村 忠志 外19名

被控訴人 茨城県知事 外1名

証 拠 説 明 書

(甲B188~191)

2013(平成25)年5月21日

東京高等裁判所第10民事部 御中

控訴人ら訴訟代理人弁護士 谷 萩 陽 一

同 五 來 則 男

同 坂 本 博 之

同 廣 田 次 男

同 丸 山 幸 司

外

証拠番号	文書名	作成者	作成年月日	立証趣旨
甲B188号 証 (写し)	新聞記事	東京新聞	2013年1月6日	建設省が設置した治水調査会・利根川委員会等の議事録が新たに公表されたこと、その中には、基本高水流量1万7000m ³ /秒という数値が十分な議論が尽くされずい採用されたことやより少ない数

				値の案が突然消えてしまったこと等が記されていること等。
甲B189号証の1~2 (写し)	新聞記事	東京新聞	2013年1月10日	甲B188と同じ。
甲B190号証 (写し)	利根川改修計画資料V	建設省	昭和32年3月30日	利根川調査会・利根川小委員会の議事録、同小委員会の報告書、利根川委員会の議事録等が掲載されている。決定された八斗島地点における基本高水流量には科学的な根拠がないこと等。
甲B191号証 (写し)	カスリーン台風実績流量に関する意見書	新潟大学名誉教授・大熊孝 拓殖大学准教授・関良基	2013年2月21日	利根川小委員会・利根川委員会の議事録には、八斗島地点上流部での氾濫による洪水流量現象についての記述がないこと、同委員会では議論の経過が不明瞭なまま八斗島地点の基本高水流量が決定されたこと等。